

第30回日本臨床細胞学会秋期大会(1991年)

1991年 11月 21日 ~ 22日 国立教育会館 (東京都)

Since 1956



学会長 澤田勤也

学会トピックス

特別講演	New Frontiers in the Cancer Cytology	M.L.Mendelsohn 先生
要望講演	卵巣癌の術中細胞診	池田正典 先生
要望講演	肝細胞癌の細胞像 類縁病変を中心として-	城下 尚 先生
要望講演	末梢型肺癌の細胞診断	馬場雅行 先生



1991年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,170名

細胞検査士数 3,931名

- ・ 8月 呼吸器細胞診断学講習会が実施される。(実施委員長 加藤治文 東京)
- ・ 8月 第16回細胞診断学セミナーが開催される。(実施委員長 柴田偉雄)
- ・ 8月 第21回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 原島三郎 東京)
- ・ 8月 第22回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 藤原 篤 広島)
- ・ 8月 第22回細胞検査士ワークショップが開催される。(実施委員長 半藤 保 香川)
- ・ 12月 第24回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 ワルシャワ条約機構解体。
- ・ 9月 南北朝鮮、国連に同時加盟。
- ・ 11月 「フレディー・マーキュリー」(クイーン)死去。
- ・ 11月 ハイビジョン・テレビの実験放送開始。
- ・ 11月 宮沢内閣成立。

第31回日本臨床細胞学会秋期大会(1992年)

Since 1956

1992年 11月 12日 ~ 13日 宝塚ホテル (大阪府)

学会トピックス



学会長 野田 定

会長講演 細胞診 未来への遺産

特別講演 General background on automation of cervical cancer screening Heinz K.Grohs 先生

招請講演 中国に於る細胞診の現状 特に食道癌の早期診断について

洗 美生 先生

招請講演 Cytologic diagnosis in respiratory disease in Taiwan

Reury-Perng Perng 先生



会場風景



学会スタッフとスナップ写真



本学会初細胞診自動診断機器展示



エンターテインメント 宝塚歌劇合唱団合唱



ディナーショー 榛名由梨さん



本学会初ハレーションTVによる症例検討会



野田先生



レディースプログラム 宝仙花での会食

1992年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,241名

細胞検査士数 4,209名

- ・ 8月 第23回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 野澤志朗 東京)
- ・ 8月 第24回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 岡田慶夫 滋賀)
- ・ 9月 日本臨床細胞学会新会員番号の設定。
- ・ 11月 日本臨床細胞学会名誉会長、元同学会長増淵一正逝去。(享年80歳)
- ・ 12月 第25回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 バルセロナ・オリンピック。
- ・ 7月 山形新幹線「つばさ」開業。
- ・ 9月 毛利衛、米スペースシャトルエンデバーで宇宙飛行へ。
- ・ 9月 自衛隊、PKO部隊の第1陣が呉港からカンボジアへ向け出発。
- ・ 10月 アメリカで留学中の日本人高校生、意思の疎通障害から射殺される。

写真提供:野田 定先生

第31回日本臨床細胞学会秋期大会(1992年)

Since 1956

1992年 11月 12日 ~ 13日 宝塚ホテル (大阪府)

学会トピックス



学会長 野田 定

会長講演	細胞診 未来への遺産	野田 定 先生
特別講演	General background on automation of cervical cancer screening	Heinz K.Grohs 先生
招請講演	中国に於る細胞診の現状 特に食道癌の早期診断について	冼 美生 先生
招請講演	Cytologic diagnosis in respiratory disease in Taiwan	Reury-Perng Perng 先生



会場風景



学会スタッフとスナップ写真



本学会初細胞診自動診断機器展示



エンターテインメント 宝塚歌劇合唱団合唱



ディナーショー 榛名由梨さん



本学会初ハビジョンTVによる症例検討会



野田先生



レディースプログラム 宝仙花での会食

1992年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,241名
細胞検査士数 4,209名

- ・ 8月 第23回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 野澤志朗 東京)
- ・ 8月 第24回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 岡田慶夫 滋賀)
- ・ 9月 日本臨床細胞学会新会員番号の設定。
- ・ 11月 日本臨床細胞学会名誉会長、元同学会長増淵一正逝去。(享年80歳)
- ・ 12月 第25回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 バルセロナ・オリンピック。
- ・ 7月 山形新幹線「つばさ」開業。
- ・ 9月 毛利衛、米スペースシャトルエンデバーで宇宙飛行へ。
- ・ 9月 自衛隊、PKO部隊の第1陣が呉港からカンボジアへ向け出発。
- ・ 10月 アメリカで留学中の日本人高校生、意思の疎通障害から射殺される。

写真提供:野田 定先生

第32回日本臨床細胞学会秋期大会(1993年)

Since 1956

1993年 10月 15日 ~ 16日 旭川市民文化会館 (北海道)



学会長 坂井英一

学会トピックス

- | | | |
|------|---|-----------------|
| 会長講演 | 肺癌検診 喀痰細胞診を中心として- | 坂井英一 先生 |
| 特別講演 | 腫瘍組織集積性物質の基礎と臨床 | 中島 進 先生 |
| 特別講演 | 腫瘍細胞の多剤薬剤耐性獲得の機序 | |
| | -ヒト白血病HL-60における Filamentous Cytoskeletons についての検討- | 宮崎 保 先生 |
| 招請講演 | Medicare The Restructuring in a Weakened National Economy | Nils Stormby 先生 |



1993年、こんなことがありました

- ・ 7月 第26回細胞検査士ワークショップが開催される。(実施委員長 坂井英一 札幌)
- ・ 8月 第25回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 加藤治文 東京)
- ・ 8月 第26回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 植木 實 大阪)
- ・ 8月 第18回細胞診断学セミナーが開催される。(実施委員長 柴田偉雄)
- ・ 9月 全国細胞診精度管理に関する実態調査が開始される。
- ・ 10月 細胞検査士会に於いて、
 1. 県単位に細胞検査士会設立を申し合わせる
 2. 「細胞検査士あり方委員会」が発足する全国スライドカンファレンス実施が決定される。
- ・ 11月 指導医試験1. 総合科, 2. 婦人科系, 3. 内外科系の専門3科に分けて実施される。
- ・ 12月 第26回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 北海道南西沖地震(M7.8).津波が発生, 奥尻島で死者176人,行方不明68人。
- ・ 8月 細川連立内閣成立。
- ・ 9月 冷夏でコメ緊急輸入を決定。
- ・ 10月 インドで大地震,死者3万人。
- ・ 10月 中国、地下核実験再開。
- ・ 10月 日本サッカー、ワールドカップ出場をかけた対イラク戦でロスタイムの失点,出場を逃す「ドーハの悲劇」。

細胞診指導医数 1,308名

細胞検査士数 4,452名

第33回日本臨床細胞学会秋期大会(1994年)

Since 1956

1994年 11月 17日～18日 宮城県民会館 / 仙台市民会館 (宮城県)



学会長 武田 鐵太郎

学会トピックス

会長講演	腺癌細胞とその周辺 消化器-	武田 鐵太郎 先生
特別講演	腺癌とその関連病変 構造・判別・分布-	高橋 徹 先生
教育講演	Bethesda Systemの問題点と今後の対応	野澤志朗 先生
教育講演	肺腺癌細胞診へのDNA ploidy, AgNORs, SPAの応用	阿部庄作 先生
教育講演	免疫組織化学から見た中皮細胞の特徴	木村伯子 先生



学会場の風景



懇親会



1994年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,386名
細胞検査士数 4,725名

- ・ 7月 第28回細胞検査士ワークショップが実施される。(実施委員長 東岩井 久 宮城)
- ・ 8月 第27回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 坂本穆彦 東京)
- ・ 8月 第28回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 松本英世 熊本)
- ・ 8月 第19回細胞診断学セミナーが実施される。(実施委員長 柴田偉雄)
- ・ 10月 オーストラリア細胞学会が実施される。
- ・ 11月 和歌山ナイトセミナーで、「これからの細胞検査士を考える」と題してシンポジウムを行う。
- ・ 11月 第29回細胞検査士ワークショップが実施される。(実施委員長 覚道健一 和歌山)
- ・ 11月 19th International Tutorial on Clinical Cytology(ウィーン)
- ・ 12月 第27回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 女性宇宙飛行士、向井千秋さんがコロンビアで宇宙へ。
- ・ 9月 関西国際空港開港。
- ・ 10月 北海道東北沖地震、マグニチュード7.9 根室で173cmの津波が発生。
- ・ 10月 オリックス「イチロー」史上初の210安打を達成。
- ・ 10月 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞。

写真提供: 武田鐵太郎先生

仙台細胞診ラボラトリー 伊藤圭子氏

朝隈蓉子氏

第34回日本臨床細胞学会秋期大会(1995年)

1995年 11月 23日～24日 国立教育会館 (東京都)

Since 1956



学会長 垣花昌彦

学会トピックス

- 会長講演 穿刺吸引細胞診における pit holes
- 特別講演 ヒト胃癌の組織型と遺伝子異常 実践医療への応用
- 特別講演 家族性腺腫性ポリポ-シスにおける大腸癌発生の機序
-その分子生物学的解釈-
- 要望講演 悪性リンパ腫分類の現状と細胞診の問題点
- 要望講演 節外性悪性リンパ腫の細胞診
- 要望講演 細胞診材料から cell cycle を読む 肺癌を中心に-
- 要望講演 絨毛性疾患の新しい分類と細胞診

垣花昌彦 先生

田原榮一 先生

宇都宮 謙二 先生

難波紘二 先生

栗田宗次 先生

井上勝一 先生

半藤 保 先生



飯島氏 平田氏 戸田氏



朝隈氏 宮下氏 浦崎氏



高木ブーさんと一緒に 垣花先生



長谷川先生 東岩井先生



西谷先生 高橋先生 天神先生 懇親会

- ・ 7月 ヘルム・ポップ彗星発見。
- ・ 7月 米大リーグドジャーズの野茂英雄投手, オールスター戦に先発, 3奪三振。
- ・ 9月 沖縄県で米兵3人による少女暴行事件。
- ・ 11月 「ウインドウズ95日本語版」発売。

写真提供: 垣花昌彦先生



学会会場風景



学会会場風景



垣花先生 山田先生

1995年、こんなことがありました

- ・ 7月 国際細胞検査士CT, IAC資格認定試験が実施。
- ・ 8月 第29回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 和田順子 東京)
- ・ 8月 第30回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 小塚正雄 愛知)
- ・ 8月 第20回細胞診断学セミナーが実施される。(実施委員長 東岩井 久)
- ・ 9月 第31回細胞検査士ワークショップが実施される。(実施委員長 北尾 學)
- ・ 10月 The 1st Cojoint Meeting of the Australian Society of Cytology Inc. and the New Zealand Society of Cytologyが実施される。(ニュージーランド)
- ・ 12月 第28回細胞検査士資格認定試験が実施される。
この回から一次試験合格者は次年度に限って一次試験が免除。
- ・ 12月 厚生省, がん診療施設情報ネットワーク事業開始。

細胞診指導医数 1,446名

細胞検査士数 4,941名

第35回日本臨床細胞学会秋期大会(1996年)

1996年 11月 29日 ~ 30日 三重県営サンアリーナ (三重県)

Since 1956



学会長 矢谷隆一

学会トピックス

会長講演	前立腺癌の病理と細胞診	矢谷隆一 先生
特別講演	Training, Examinations and Admittance in Cytopathology in Germany	Peter Pfitzer 先生
要望講演	子宮体癌取扱規約改訂第2版の組織分類と診断基準について	坂本穆彦 先生
要望講演	乳癌・子宮癌の病理・細胞診における分子病理学の役割	津田 均 先生
教育講演	穿刺細胞診におけるメイ・ギムザ染色の有用性	越川 卓 先生
教育講演	21世紀のがん対策	富永祐民 先生
教育講演	肺癌検診における喀痰細胞診の役割	鈴木隆一郎 先生



細胞診指導医数 1,509名

細胞検査士数 5,134名

1996年、こんなことがありました

- ・ 8月 第31回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 海老原善朗 東京)
- ・ 8月 第32回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 小畑 義 京都)
- ・ 8月 第21回細胞診断学セミナーが実施される。(実施委員長 東岩井 久)
- ・ 8月 The 26th Annual Scientific Meeting of the Australian Society of Cytology が開催される。(シドニー)
- ・ 10月 第33回細胞検査士ワークショップが開催される。(実施委員長 植木 實 大阪)
- ・ 12月 第29回細胞検査士資格認定試験が実施される。
この回より少数例の出題が廃止される。
- ・ 12月 「細胞検査士健康管理委員会」のアンケート調査開始(更新者,新合格者対象)。
- ・ 7月 英チャールズ皇太子とダイアナ妃,離婚に合意。
- ・ 7月 アトランタ・オリンピック開催。
- ・ 7月 堺市の小学校で0-157集団食中毒事故。
- ・ 8月 エイズ薬害問題で安部英前帝京大副学長を業務上過失致死容疑で逮捕。
- ・ 9月 北朝鮮の潜水艦が韓国に侵入,1人逮捕,11遺体発見。
- ・ 9月 米大リーグ,ドジャーズの野茂英雄,対ロッキーズ戦でノーヒットノーランを達成。
- ・ 12月 ベルー日本大使公邸事件。
- ・ 12月 敦賀原発2号機で冷却水漏れ事故発生。

第36回日本臨床細胞学会秋期大会(1997年)

Since 1956

1997年 11月 2日～3日 パシフィコ横浜 (神奈川県)



学会長 岡島弘幸

学会トピックス

- | | | |
|------|---------------------------|---------|
| 会長講演 | 日本臨床細胞学会のあゆみ | 岡島弘幸 先生 |
| 特別講演 | 癌遺伝子診断の現状と展望 | 中村祐輔 先生 |
| 要望講演 | テロメア, テロメースによる発がん評価の現状と展望 | 安本 茂 先生 |
| 教育講演 | 細胞診とアポトーシス | 笹野公伸 先生 |
| 教育講演 | 肺の高分化腺癌の細胞像 | 齋藤泰紀 先生 |



岡島先生 山田先生



学会会場



岡島先生
武智氏 都竹氏



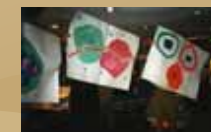
岡島先生を囲んで



中山先生 岡島先生



岡島先生 高橋先生



細胞検査士会

創立30周年記念船上パーティーにて

1997年、こんなことがありました

- ・ 7月 第22回細胞診断学セミナーが開催される。(実施委員長 東岩井 久)
- ・ 8月 第33回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 石原得博 山口)
- ・ 8月 第34回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 山内一弘 東京)
- ・ 9月 細胞検査士会報第23号「細胞検査士30周年記念特集号」が発行される。
- ・ 9月 全国細胞診精度管理に関する実態調査結果が報告される。
- ・ 9月 第35回細胞検査士ワークショップが開催される。(実施委員長 沓澤 武)
- ・ 11月 細胞検査士会30周年記念事業が開催される。
- ・ 12月 第30回細胞検査士資格認定試験が実施される。

この回から4年制大学(杏林大学・北里大学)における細胞検査士養成課程で専門教育を履習した学生に卒業見込みで受験が可能になる。

- ・ 7月 香港返還。
- ・ 8月 ダイアナ元妃事故死。
- ・ 9月 ベネチア国際映画祭のグランプリ(金獅子賞)を、北野監督の「HANA-BI」が受賞。
- ・ 11月 サッカーW杯初出場決定。
- ・ 宇宙飛行士・土井隆雄が米スペースシャトル・コロンビア号で日本人初の宇宙遊泳。

細胞診指導医数 1,587名

細胞検査士数 5,349名

写真提供: 岡島弘幸先生
高山明子氏

第37回日本臨床細胞学会秋期大会(1998年)

Since 1956

1998年 11月 19日 ~ 20日 仙台国際センター (宮城県)



学会長 東岩井 久

学会トピックス

会長講演	子宮頸癌制圧を目指して	東岩井 久 先生
招請講演	ジーンターゲティングで発癌の機構を探る	野田哲生 先生
特別講演	21世紀における細胞診断学の展望	杉森 甫 先生
要望講演	戦闘機事故とヒューマンエラー	垣本由起子 先生
要望講演	病理学的立場から観た癌早期発見の意義	斎藤 建 先生



学会会場風景



東岩井先生



野田 定先生 東岩井先生



1998年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,646名

細胞検査士数 5,618名

- ・ 7月 第23回細胞診断学セミナーが開催される。(実施委員長 東岩井 久)
- ・ 8月 第35回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 團野 誠 東京)
- ・ 8月 第36回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 植木 寛 大阪)
- ・ 9月 第37回細胞検査士ワークショップが開催される。(実施委員長 吉見直巳 岐阜)
- ・ 9月 日本臨床細胞学会事務局移転。
- ・ 12月 第31回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 和歌山毒入りカレー事件。
- ・ 7月 小淵内閣成立。
- ・ 8月 北朝鮮が発射した弾道ミサイル「テポドン」が、三陸沖の太平洋に着弾。
- ・ 9月 米大リーグ・カージナルスのマグワイアが、62号本塁打を打ち新記録樹立。
- ・ 10月 米スペースシャトル・ディスカバリーが、2回目の向井千秋、史上最高齢ジョン・グレン上院議員(77歳)を乗せて打ち上げ。
- ・ 12月 第13回アジア競技大会(バンコク)の女子マラソンで、
- ・ 12月 高橋尚子が2時間21分47秒の日本新、世界歴代5位で優勝。
- ・ 12月 米英軍、イラク空爆。

写真提供: 仙台細胞診ラボラトリー 伊藤圭子氏

第38回日本臨床細胞学会秋期大会(1999年)

Since 1956

1999年 11月 26日 ~ 27日 名古屋国際会議場 (愛知県)



学会長 小塚正雄

学会トピックス

メインテーマ 臨床に役立つ細胞学

会長講演 膵癌の細胞診

招待講演 古代エジプト・ツタンカーメンの謎とミイラ作製などの医学技術

特別講演 消化器細胞に対する病理学からの提言

要望講演 血管新生因子と腫瘍発育

要望講演 RETチロシナーゼのシグナル伝達異常と疾患

要望講演 悪性リンパ腫新WHO分類と細胞像

小塚正雄 先生

吉村作治 先生

渡辺英伸 先生

植田政嗣 先生

高橋雅英 先生

中村栄男 先生



国際シンポジウム 膵癌の細胞診



示説発表 演者:横井先生



越川先生 夏目氏 柴田先生 小塚先生 伊藤先生



チリ公使夫妻 武内功労会長 駐日エクアドル大使



会長招宴

1999年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,710名

細胞検査士数 5,812名

- ・ 7月 第24回細胞診断学セミナーが開催される。(実施委員長 東岩井 久)
- ・ 7月 国際細胞検査士CT, IAC資格認定試験が実施される。
- ・ 8月 第37回細胞検査士教育セミナーが実施される。(実施委員長 伊藤良彌 東京)
- ・ 8月 第38回細胞検査士教育セミナーが実施される。(実施委員長 宝来 威 神戸)
- ・ 9月 第39回細胞検査士ワークショップが実施される。(実施委員長 安田 允 東京)
- ・ 12月 第32回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 羽田発新千歳行きの全日空ジャンボ機が、東京都の航空マニアの無職男にハイジャックされ、機長が刺殺される。
- ・ 8月 国旗・国歌法が成立。
- ・ 8月 トルコ北西部で強い地震。
- ・ 9月 台湾で大地震。
- ・ 9月 茨城県東海村の民間ウラン加工施設「ジェー・シー・オー (JCO)東海事業所」で国内初の臨界事故。
- ・ 10月 プロ野球日本シリーズ、福岡ダイエーホークスが中日ドラゴンズを4勝1敗で破り、球団創設11年目の初優勝。

写真提供:小塚正雄先生

名古屋第一赤十字病院 西山忠夫氏

第39回日本臨床細胞学会秋期大会(2000年)

Since 1956

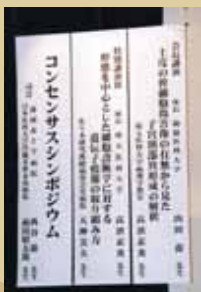
2000年 11月 17日～18日 大宮ソニックシティー (埼玉県)

学会トピックス



学会長 高濱素秀

- メインテーマ 世紀にかける橋Millennium bridge -臨床細胞学の今世紀の到達点を示し、21世紀の展望へつなく-
- 会長講演 上皮の幹細胞障害像の有無から見た子宮頸部異形成の解釈 高濱素秀 先生
- 特別講演 菊池病(組織球性壊死性リンパ節炎)の病理
-発見のきっかけに留年学生の協力があった- 菊池昌弘 先生
- 特別講演 21世紀の腫瘍形態診断学 北川知行 先生
- 特別講演 形態を中心とした細胞診断学に対する遺伝子情報の取り組み方 天神美夫 先生



上段: 廣瀬先生 長村先生
下段: 学会会場



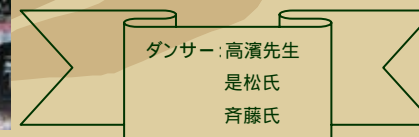
上段: 天神先生
下段: 武智氏



成り行きで司会に任命された清水先生



ヒップホップダンスで盛り上がった懇親会



2000年、こんなことがありました

細胞診指導医数 1,797名
細胞検査士数 6,050名

- ・ 8月 第25回細胞診断学セミナーが開催される。(実施委員長 東岩井 久)
- ・ 8月 第39回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 藤井雅彦 東京)
- ・ 8月 第40回細胞検査士教育セミナーが開催される。(実施委員長 大濱絃三 広島)
- ・ 12月 The International Consensus Conference on The Fight Against Cervical Cancer が開催される。(シカゴ)
- ・ 12月 第33回細胞検査士資格認定試験が実施される。

- ・ 7月 パリ郊外で超音速旅客機コンコルドが墜落、113人死亡。
- ・ 7月 雪印乳業大阪工場の低脂肪乳が原因の大量食中毒事件。
- ・ 7月 主要先進国首脳会議(九州・沖縄サミット)が沖縄県名護市で開催。
- ・ 8月 北極海でロシアの原潜クルスクが沈没。
- ・ 9月 シドニー・オリンピック開幕。
- ・ 10月 ノーベル化学賞を白川英樹・筑波大名誉教授ら3人が授与。
- ・ 11月 オーストラリアで山岳ケーブルカーがトンネル内で火災、日本人10人を含む155人死亡。
- ・ 11月 オリックスのイチロー外野手、米大リーグ、マリナーズに入団発表。

写真提供: 高濱素秀先生